

2017（平成 29）年度 南山大学人類学研究所

主催

公募中!!

募集
テーマ

シンポジウム 定着／非定着の人類学

南山大学人類学研究所では、シンポジウムの公募を実施します。

今年度のテーマは、「定着／非定着の人類学」です。ここでいう定着／非定着とは、ヒトの移動だけでなく、モノ・情報・知識・技術の流出・浸透・消失・再帰といった事象も想定しています。

■活用例■

例えば

★研究会や勉強会の成果を公開したい。

★計画中の共同研究の出会いの場をつくりたい。

などにご活用ください！

■応募資格■

文化人類学を中心とした関連諸分野を専門とする研究者で、特に若手研究者による萌芽的な企画を歓迎します

■公募内容■

研究会企画 1件／20万円

■実施期間■

2017年10月から2018年3月初旬までの土日（10月21～22日、11月4～5日、11月11日、年末年始、1月13～14日、2月7～16日を除く）

■締め切り■

2017年9月15日（金）

※詳細は裏面またはWebページの公募要項をご覧ください

■問い合わせ・申込先■南山大学人類学研究所

〒466-8673 愛知県名古屋市昭和区山里町18

E-mail ai-nu@ic.nanzan-u.ac.jp

Web <http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/JINRUIKEN/>

南山大学人類学研究所 Facebook 

2017（平成 29）年度

南山大学人類学研究所主催シンポジウム

公募要項

南山大学人類学研究所は、文化人類学・考古学および関連諸分野（教育社会学、心理学、民俗学等）を専門とする研究者によって構成され、人類の長期的で総合的な理解を目指しています。

昨年度より、研究所の新たな試みとして、シンポジウムの公募を実施しています。今年度のテーマは、「定着／非定着の人類学」です。ここでいう定着／非定着とは、ヒトの移動だけでなく、モノ・情報・知識・技術の流出・浸透・消失・再帰といった事象も想定しています。

以下の要項をご覧の上、奮ってご応募いただきますよう、お願い申し上げます。

<応募資格>

文化人類学を中心とした関連諸分野を専門とする研究者で、特に若手研究者による萌芽的な企画を歓迎します。

<公募内容>

研究会企画 1 件（20万円を上限とする）

シンポジウム開催のための旅費（交通費、宿泊費）およびポスター等広報にかかる費用を、20万円を上限として支給します。なお、懇親会費等には支出できません。

<応募条件>

1. シンポジウムは、原則として2017年10月から2018年3月初旬までの土日に実施してください（ただし、10月21～22日、11月4～5日、11月11日、年末年始、1月13～14日、2月7～16日を除きます）。
2. 会場は、南山大学名古屋キャンパス（〒466-8673 愛知県名古屋市昭和区山里町18）もしくは南山学園研修センター（〒466-0834 愛知県名古屋市昭和区広路町字隼人30）となります。
3. シンポジウムは「一般公開」となります。
4. 使用言語は、日本語とします。
5. シンポジウムの発表者ないしはコメンテーターとして、当研究所員を最低1名加えて計画してください。
6. 成果報告として、当研究所発行の『年報人類学研究』の「特集」を利用することができます。ただし各論文に対して査読が行われます。それ以外の成果出版に際しては、当研究所主催のシンポジウムに基づく旨を明記してください。
7. シンポジウム実施後1ヶ月後を目処に、シンポジウムについてA4一枚程度で報告してください。

<応募方法>

以下の所定事項を記入した応募申請書を E-mail で送付してください（書式自由）。件名に「公募シンポジウム申請」と明記してください。

1. シンポジウムのタイトル
2. 発表者・コメンテーター全員の氏名・所属
3. 各発表のタイトル（仮で結構です）
4. 企画の概要（A4一枚以内）
5. 代表者連絡先（氏名、住所、電話、E-mail アドレス）
6. 開催希望日時（「応募条件1」参照の上、第3希望まで挙げてください）

<問い合わせ・申し込み先>

南山大学人類学研究所（〒466-8673 愛知県名古屋市昭和区山里町18）

E-mail : ai-nu@ic.nanzan-u.ac.jp

<締め切り>

2017年9月15日（金）必着

<結果通知>

応募書類の厳正な審査の上、代表者に採否を連絡します（9月末を予定）。なお、採否の理由についてのお問い合わせには応じません。

<注意事項>

1. 使える費目は、旅費（往復の交通費と宿泊費）です。いずれも南山大学の規定に基づき算出します。
2. 応募時から企画の内容が著しく変更されている場合は、採択後でも採用を取り消すことがあります。
3. シンポジウム実施後に提出された報告は、当研究所WebページおよびFacebookでも公開されます。